

# 地域とともにある尾崎小学校 ～尾崎を学ぶ取組づくり～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
赤穂市立 尾崎小学校	尾崎小学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	尾崎地区まちづくり連絡協議会



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

児童が、ふるさと尾崎の歴史文化を十分に知る機会がなく、ふるさとの良さを感じにくい状態であった。児童のふるさとへの愛着を深めていく必要があった。  
また、地域からの「もっと、子供たちに尾崎のことを知って、好きになってほしい」、「今後の尾崎地区を担う人材を育てていきたい」という強い要望があった。

### 目標や目指す姿(学校)

児童が自分が育つ「ふるさと尾崎」の歴史文化を知り、地域の方とのつながりを感じるにより、地域への興味関心を高め、愛着を深めると共に、次の尾崎を担う心を培う。

### 目標や目指す姿(地域)

尾崎のことを知り尾崎を好きになるだけでなく、今後の尾崎地区を担う人に育ってほしい。



## 尾崎小学校学校運営協議会の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                     |                                    |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会関係者     | <input type="checkbox"/> 防犯委員会     |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 | <input type="checkbox"/> 商工会・企業関係者 |
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員     | など、計 <b>13</b> 名で構成                |
| <input type="checkbox"/> 公民館関係者     | 年間平均 <b>5</b> 回程度開催                |

### 効果的な運営の工夫

学校運営協議会では、地域の各種団体の中から子どもと関わることに熱心な人材を委員に選定している。学校行事の在り方や「尾崎を学ぶ日」の取組について学校運営協議会で何度も検討を重ねる機会を持っている。その結果、「今後の尾崎地区を担う人材を育てたい」という地域住民の願いや、各種団体が協力できることを幅広く熟識することができている。また、学校運営協議会の委員を中心に、様々な地域団体に協力を依頼することで、団体の強みを生かした地域学校協働活動ができている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

学校行事の実施方法について協議し、地域住民の思いや地域の方が協力できることを生かした取組をしている。発達段階に応じた地域学習である「尾崎を学ぶ日」を教育課程に位置づけて実施し、学年別のプログラムや、地域の方のゲストティーチャー招聘について協議することで、学校運営協議会の委員が持つ、それぞれの団体の強みを生かしたプログラムが作られている。



尾崎名所クイズ

### 地域学校協働活動

「尾崎を学ぶ日」では、自治会やPTA、地域住民をゲストティーチャーに招き、「尾崎の民話」、「尾崎に残る史跡」、「尾崎の祭り」、「尾崎の歴史」等の年齢に応じた地域学習を実施した。また、まちづくり協議会や防犯協会等とともに尾崎の史跡をたどるウォークラリーを実施した。



尾崎ゲストティーチャー

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会で、学校の教育目標や「活動のねらい」を委員に理解してもらい、地域の「子どもたちへの願い」を確認し進めていくことを重視している。この確認を繰り返し行うことで、学校運営協議会の委員を中心に、「尾崎の子どもは尾崎で育てる」、「学校があることが地域の活性化につながる」といった意識が地域に広がり、学校と地域が協力して、子どもを育てていくという気運が高まっている。

## 取組

## 成果・効果

### 【6年生の感想】

- ◆尾崎のことを教えてもらって、もっと、自分の住んでいる尾崎のことを知ろうと思いました。今日、教えてもらったことを「次は私たちが伝えていくんだ」と思いました。
- ◆昔と今の尾崎のちがいを感じました。私も20年後、30年後、伝統や文化を伝えて行けたらと思います。
- ◆今後、僕たちが後の世代に伝えていかなければいけないので、もっとくわしく知りたいと思いました。

### 【成果】

- ◆児童  
◆地域の伝統行事や歴史にふれ、自分たちが住む尾崎への興味・関心が高まるとともに、誇りを持つようになってきた。
- ◆「次の世代には自分たちが尾崎の歴史を伝えていく」という、地域を担う心が育ちつつある。
- ◆地域の人とふれあうことにより、地域への愛情や人と人のつながりの大切さをより感じるようになってきた。

### 地域

- ◆学校と地域が協力して、子どもを育てていくという気運が高まっている。「尾崎の子は尾崎で育てる」という意識をもつ人が運営協議会委員を中心に少しずつ増えてきている。